

『ロスねこ日記』(小学館)、『いやよいやよも旅のうち』(集英社文庫)など、
酒・旅・猫にまつわる身辺雑記で人気の北大路公子の新刊は、なんと、
マイナー文芸誌で2年間秘かに書き綴られていた小説です！

北大路公子 初の連作短編集 ハッピーライフ

ISBN978-4-909281-30-2 C0093

日記をつけることで〈幸福〉を楔で心に打ち付ける女。
17年間、帽子とマスクで顔を覆い商店街の中だけで暮らす女。
夫の浮気相手である図書館司書を日々監視する女。
理想の家庭を夢見ながら妻に家出されてしまった男……。
穏やかで静かな町に暮らす人々の〈不安〉はやがて、
「ある人々の存在」に向けられてゆく。
彼ら／彼女らはいったい何者なのか——



北大路公子が描かずにはおれなかった〈もう一つの日常〉

心揺さぶる濃密な連作短編、待望の書籍化

四六判上製112頁〔厚さ12ミリ〕／ 定価：本体1500円＋税／ 2020年9月下旬刊行予定



北大路公子 (きたおおじ・きみこ)

1960年代、北海道札幌市生まれ。文筆家。2005年、ネットの公開日記をまとめた『枕もとに靴——ああ無情の泥酔日記』で寿郎社からデビュー。著書に『最後のおでん』『ぐうたら旅日記——恐山・知床をゆく』(以上、寿郎社)、『生きていてもいいかしら日記』(PHP文芸文庫)、『ロスねこ日記』(小学館)、『いやよいやよも旅のうち』『石の裏にも三年』『晴れても雪でも』(以上、集英社文庫)など。現在、北海道新聞に書評コラム「吞んで読んで」を、日本経済新聞にコラム(土曜日)を連載中。(写真)は最近飼い始めた猫。

ポップをご希望される書店様には
北大路公子の手書きのポップ(カラーコピー)差し上げます

* 本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊配本はありません。必ず事前のご予約(ご注文)をお願いします。

ご注文は下記にご記入の上→石田 FAX03-5309-2831

注文票

<p>地小出版 流通センター取扱品</p> <p>●書店名</p> <p>●御担当者名</p>	<p>●発行 寿郎社</p>	<p>●発注日 月 日</p>	<p>●ポップの希望欄(どちらかに○を) ポップを ・希望する ・希望しない</p>
	<p>●注文数</p> <p>冊</p>	<p>●著者名 北大路公子</p> <p>●書名 ハッピーライフ</p> <p>●定価：本体 1500円＋税</p>	<p>●ISBN 978-4-909281-30-2 C0093</p>